

「A(3)生命の大切さを知るために-3(患者から学ぶ)」(春学期)

この講義では、現場で実務に携わる薬剤師が、患者に薬を渡す最後の職種として、患者の安全を守るために何をしなくてはならないかを考えていきます。これからの地域で活躍する薬剤師に必要と思われる、障がい者、薬害被害者、企業、臨床医など様々な立場の方との具体的な関わり方が学ぶことができます。さらに薬剤師の倫理を学ぶことで高齢者を支援する際の諸問題に対しても応用ができます。

【開講日時】月曜日 11:00~12:15 75分間 (4/16のみ火曜日開講)

※講義内容については変更がある場合もあります。SGDは見学での参加となります。

月/日	担当	タイトル	内容
4/8 月	早瀬久美 (昭和大学病院薬剤部)	障がい者から学ぶ	障がい者の気持ちを知り、薬剤師としての対応を考えることができる。
4/16 火	中島亜矢子 (東京女子医大)と リウマチ患者会	リウマチ患者から学ぶ	リウマチの症状を知り、服薬等に必要な補助について考えることができる。
4/22 月	内田スミス あゆみ	患者自身から患者の気持ち 持ちを学ぶ	患者の気持ちを知り、薬剤師としての対応を考えることができる。
5/13 月	福島 紀子	薬害とは(概論)	患者の医療関係者に対する声を聞き、薬剤師としての役割を考えることができる。
5/20 月	増山ゆかり (財団法人いしずえ)	薬害被害者から学ぶ サリドマイド	被害発生の状況及び社会的被害について学び、薬害を繰り返さないための方策を考える。
5/27 月	花井十伍 (HIV患者ネットワーク 医療と人権)	薬害被害者から学ぶ 薬害エイズ	被害発生の状況及び社会的被害について学び、薬害を繰り返さないための方策を考える。
6/3 月	湯浅和恵 (SJS患者会)	重篤な副作用の被害者 から学ぶ スティーブン・ジョンソン 症候群	被害発生の過程及び症状等を学び、副作用の早期発見について検討する。

6/10 月	服部 豊	臨床医の立場から	薬害を防ぐために臨床の現場における薬剤師・医師の役割を考えることができる。悪性腫瘍終末期における化学療法と緩和医療の役割を議論することができる。
6/17 月	千葉 康司	医薬品開発の立場から	医薬品を製造販売するに当たって、薬害を起こさないために、製薬企業はどのような対策を取っているのかを学び、企業の立場からの薬害防止対策を検討する。
6/24 月	川村和美 (仙台調剤)	薬剤師の倫理を考える	薬剤師としての倫理を考える
7/1 月	福島 紀子 岸本 桂子 川村和美(仙台調剤)	SGD	いくつかの課題についてグループディスカッションをし、その成果をポスター発表する。
7/8 月	福島 紀子 川村和美(仙台調剤)	SGD の発表とまとめ	患者、消費者の医薬品使用の安全管理に対する薬剤師の役割を考えることができる。